県議 坪田すすむ 通信 Vol.2

福岡県議会議員（博多区） 民主県政クラブ県議団

福岡県議会議員（博多区選出）の坪田すすむです。9月定例会では、2022年度一般会計決算案など計20議案が可決され、7月の豪雨被害からの復旧・復興対策費約415億円などを盛り込んだ総額約515億9700万円の2023年度補正予算案も可決されました。民主県政クラブ県議団からは、多発する豪雨災害への対応などについて代表質問しました。私は決算特別委員会で質問し、児童相談所の対応の問題、歩車分離・スクランブル交差点についてただしました。

坪田すすむ

9月定例会報告

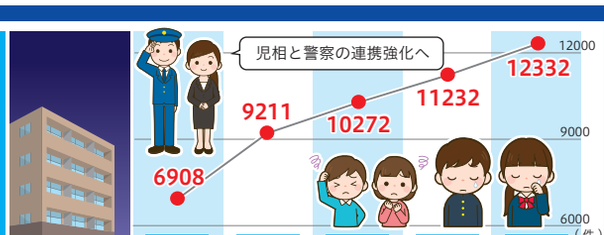
2023 秋冬号

なくならない児童虐待 児相と関係機関、連携を

決算特別委員会質疑

福岡県の児童虐待相談件数は毎年増加しており、2022年度は2018年度の1.8倍となる1万2332件で、過去最多でした。福岡県では全国ニュースでも取り上げられるような痛ましい事件も起こっています。子どもであるがゆえに、被害が見えにくいのがこの児童虐待の問題です。早期発見と適切な対応が、被害を食い止めるための重要なポイントとなります。福岡県での状況と対応について尋ねました。

福岡県の児童虐待相談件数の推移



	2018	2019	2020	2021	2022
身体的虐待	1629	2054	2182	2607	2888
性的虐待	70	86	98	121	155
心理的虐待	3851	5474	6496	6906	7372
ネグレクト	1358	1597	1496	1598	1917
合計	6908	9211	10272	11232	12332

（件）

県警と情報共有し対応強化

坪田：児童虐待相談対応件数が増え続けている要因は何か。また、これまでの県の対策について伺いたい。

執行部：家庭の養育力の低下が、虐待行為につながっていると考える。また、関係機関の児童虐待に対する意識の高まりや、児童相談所との連携を進めた警察からの通告も増えたことも、件数増の要因だ。県では、児童相談所の児童福祉司を増員したほか、警察官、弁護士、医師も配置した。また、全ての児童相談所に一時保護所を設置し、機能強化のため個室化も進めている。

坪田：警察との連携強化の内容は。

執行部：児童相談所に警察官を配置し、助言や警察署との調整を担当させている。また、児童相談所との面会を保護者が拒否した場合や、威圧的な要求等が想定される場合は、同行や立入調査などの対応にあたる。

坪田：一部の自治体では、児童虐待に関する全ての情報を警察と共有する「全件共有」が導入されているが、福岡県の状況は？

執行部：児童相談所に配置された警察官と一緒に、全ての虐待事案について内容を確認している。「重篤な事案」は随時、「今後注意が必要な事案」は定期的に、管轄の警察署に情報提供している。

坪田：県警以外の関係機関、学校や医療機関との情報共有・協力体制の状況は。

執行部：児童相談所が通告を受けた虐待事案のうち、地域による見守りや支援が必要と判断したものは、市町村や児童相談所、学校、医療機関などの関係機関で構成する要保護児童対策地域協議会で支援している。

福岡県の非常勤職員　処遇改善を要望

福岡県では 1107 人の会計年度任用職員（ 非常勤の地方公務員・2023 年 5 月 1 日現在 ）が従事しており、事務作業や書類審査の補助、コロナ禍では保健師や看護師への支援など、専門分野に応じて幅広い業務を担当しています。いまや行政運営に欠かせない会計年度任用職員の、処遇改善への対応について質問しました。

坪田：今年の人事委員会の報告・勧告では、会計年度任用職員の処遇改善についてどのように言及されていたか。

執行部：「来年度から勤勉手当を支給する取扱いについて検討すること」「休暇等の勤務条件について、国や他の都道府県の動向にも留意して、適切に運用を」との報告があった。

坪田：人事委員会の報告を受けた県の対応と決意を伺いたい。

執行部：報告を受けた事項について、実施の是非や時期などを検討する。会計年度任用職員は県政の一翼を担っている。国や他の自治体、民間企業の動向も踏まえ、適正な処遇の確保に努める。

坪田：同一労働同一賃金ガイドラインに基づき、正規職員との待遇差の改善をしていく必要があります。人事委員会の勧告をもとに、処遇改善が図られるよう速やかに議会へ条例提案すること強く要望します。

交通渋滞緩和へ 信号運用、適宜改善を

交通渋滞は交通事故を誘発する一因とされていますが、篠栗町と飯塚市をつなぐ八木山バイパスは渋滞が慢性化しています。八木山バイパス上にある「鳴淵ダム入口交差点」は、半感応式信号機が設置されていますが、幹線道路の脇道から進入する車両、横断する歩行者がともに少ないことがわかり、横断歩道を押しボタン式とし、脇道からの車両進入時の青信号時間を短縮したところ、渋滞緩和の効果がありました。渋滞解消のための、県内の信号運用についてただしました。

坪田：2019 年の警察委員会では、県内全ての半感応式信号機の現場調査を行い、脇道からの車両用信号と歩行者用の押しボタン信号を別々に分ける運用への見直しを図るとのことでした。この調査結果について、お答えください。

執行部：当時県内にあった半感応式信号機 1089 か所のうち、歩行者用を押しボタン信号に分ける運用が可能な半感応式信号機 878 か所を調査し、渋滞解消の効果が見込まれる交差点 3 か所の運用を変更した。現在、県内で 8 か所を同様の運用にしている。

坪田：交通量や通行量の変化に応じて適宜調査と変更の検討をお願いします。

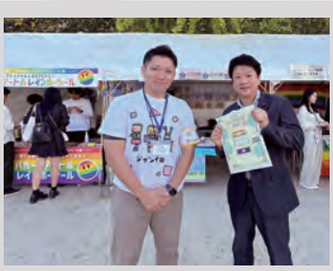
活動報告

今秋開催されたラグビー W 杯福岡県主催のパブリックビューイングにて。カーンヘスケス選手と偶然出会いました

JR西労組中央本部青年女性委員会「ユーススピリット2023」in福岡に参加

9月議会では、決算特別委員会で質問に立ちました

住吉小中学校で車いすラグビーの公式戦を開催させていただきました。多くの地域の方が来場し、盛り上がりました（写真右から冨永芳行福岡県議会議員、福岡ダンデライオンの堀貴志さん）



「九州レインボープライド2023」に警備スタッフとして参加しました。石川大我参院議員と。

母校の板付小学校の運動会に参加。子どもたちの元気な姿にパワーをもらいました（写真右は山田ゆみこ福岡市議会議員）

Career

87年　正光寺ひかり幼稚園（博多区）
90年　板付小学校入学
94年　塩原小学校入学（筑紫丘Jrラグビークラブ）
96年　福岡市立春吉中学校入学（筑紫丘Jrラグビークラブ）
99年　福岡県立筑紫丘高等学校入学（ラグビー部）
03年　早稲田大学 文学部入学（ラグビー部）
07年　NPO法人福岡すまいの会入職（ホームレスの自立支援）
14年　社会保険労務士資格を取得　博多駅前に事務所を設立
14年　車いすラグビーチーム「福岡ダンデライオン」設立
21年　衆議院議員選挙立候補(福岡 1 区選挙区)
23年　福岡県議会議員選挙 初当選

Mission

議会運営委員会 委員 / 文教委員会 委員
スポーツ立県調査特別委員会 委員
ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会 委員

社会保険労務士
車いすラグビーチーム「福岡ダンデライオン」顧問
NPO法人福岡すまいの会理事
一般社団法人てとて（障がい者のグループホーム）理事

Office

Tel 092-710-4930　Fax 092-710-4931
〒812-0045 福岡市博多区東公園5-18
ヴェルゾン東公園1F（事務所）

SNS リンク